

2020年8月6日

上場会社名 東京応化工業株式会社
 コード番号 4186 URL <https://www.tok.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 種市 順昭

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高瀬 興邦

TEL 044-435-3000

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

2020年9月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	57,203	16.9	6,664	50.5	6,785	54.0	4,639	58.7
2019年12月期第2四半期	48,932	3.6	4,428	5.3	4,407	5.7	2,924	8.9

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 4,408百万円 (101.4%) 2019年12月期第2四半期 2,188百万円 (119.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	112.00	111.68
2019年12月期第2四半期	70.16	69.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	188,456	153,048	77.4	3,517.01
2019年12月期	186,486	151,733	77.5	3,491.23

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 145,908百万円 2019年12月期 144,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		60.00		60.00	120.00
2020年12月期		60.00			
2020年12月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,700	8.6	13,800	44.6	14,100	45.3	9,600	77.4	231.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	45,100,000 株	2019年12月期	45,100,000 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	3,613,633 株	2019年12月期	3,711,937 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	41,426,196 株	2019年12月期2Q	41,675,059 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行に伴い、経済活動が抑制されたため、景気が落ち込みました。

このような情勢の下、当社グループは、成長軌道への回帰を目指し、2021年度を最終年度とする3カ年の中期計画「tok中期計画2021」に掲げた全社戦略の遂行に総力を挙げて取り組んでまいりました。

材料事業においては、パソコンやデータサーバー向けの半導体需要が堅調に推移したため、売上は前年同期を大幅に上回りました。また、装置事業におきましても、出荷済み装置の検収が進んだことから、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は572億3百万円（前年同期比16.9%増）、営業利益は66億64百万円（同50.5%増）、経常利益は67億85百万円（同54.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億39百万円（同58.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 材料事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、559億64百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は、91億90百万円（同43.1%増）となりました。これは、エレクトロニクス機能材料部門および高純度化学薬品部門の売上がともに好調に推移したことが主な要因であります。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	47,791	55,964	8,172	17.1%
営業利益	6,423	9,190	2,766	43.1%

部門別の概況は、次のとおりであります。

エレクトロニクス機能材料部門の売上高は、前年同期を上回る320億95百万円（同15.3%増）となりました。これは、ディスプレイ用フォトレジストにおいて、スマートフォン市場の低迷を受けて売上が減少したものの、データサーバー向けなどで半導体需要が堅調に推移したことにより、韓国・台湾地域において半導体用フォトレジストや、高密度実装材料の売上が前年同期を大幅に上回ったことが主な要因であります。

高純度化学薬品部門の売上高は、前年同期を上回る238億16百万円（同19.7%増）となりました。これは、ディスプレイ用フォトレジスト付属薬品において、ディスプレイ市場の縮小から販売が低迷し、売上が減少したものの、台湾向けの最先端半導体製造プロセスに使用される半導体用フォトレジスト付属薬品の販売が好調に推移したことが主な要因であります。

② 装置事業

当事業の内部取引を除いた売上高は、12億39百万円（前年同期比8.6%増）となり、営業損失は、前年同期比23百万円悪化し、2億94百万円となりました。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	1,141	1,239	98	8.6%
営業損失(△)	△270	△294	△23	—

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,884億56百万円で、前連結会計年度末に比べ19億70百万円増加いたしました。

流動資産につきましては43億73百万円増加いたしました。これは現金及び預金が48億33百万円増加した一方、未収消費税等の減少により流動資産のその他が5億96百万円減少したことが主な要因であります。

固定資産につきましては24億2百万円減少いたしました。これは減価償却等により、有形固定資産のその他が12億93百万円、保有する投資有価証券の時価評価により投資その他の資産のその他が8億94百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、354億8百万円で、前連結会計年度末に比べ6億55百万円増加いたしました。これは未払金や設備関係未払金など流動負債のその他が14億97百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が11億48百万円、未払法人税等が5億99百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,530億48百万円で、前連結会計年度末に比べ13億14百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益を46億39百万円確保した一方、期末配当金25億1百万円の支払いや投資有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が5億2百万円減少したことが主な要因であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は77.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月28日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想数値から変更しておりません。

また、為替相場は105円/\$を想定しております。

なお、新型コロナウイルス感染症は、今後の経過によっては、当社グループの経営成績および財政状態の状況に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,405	51,239
受取手形及び売掛金	23,887	23,679
有価証券	2,999	2,999
商品及び製品	7,022	7,701
仕掛品	4,312	4,104
原材料及び貯蔵品	6,105	5,949
その他	2,645	2,048
貸倒引当金	△95	△67
流動資産合計	93,282	97,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,602	27,238
その他(純額)	27,454	26,161
有形固定資産合計	55,057	53,399
無形固定資産	661	590
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	3,204	3,425
長期預金	18,000	18,000
その他	16,293	15,399
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	37,485	36,811
固定資産合計	93,204	90,801
資産合計	186,486	188,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,345	11,493
未払法人税等	700	1,300
賞与引当金	1,827	2,107
その他	7,442	5,944
流動負債合計	20,316	20,846
固定負債		
長期借入金	11,272	11,119
退職給付に係る負債	436	458
その他	2,727	2,984
固定負債合計	14,437	14,562
負債合計	34,753	35,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	15,207	15,207
利益剰余金	120,908	123,014
自己株式	△14,969	△14,569
株主資本合計	135,787	138,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,695	5,193
為替換算調整勘定	2,866	2,301
退職給付に係る調整累計額	145	119
その他の包括利益累計額合計	8,707	7,614
新株予約権	379	304
非支配株主持分	6,858	6,835
純資産合計	151,733	153,048
負債純資産合計	186,486	188,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	48,932	57,203
売上原価	32,925	37,776
売上総利益	16,007	19,427
販売費及び一般管理費	11,578	12,762
営業利益	4,428	6,664
営業外収益		
受取利息	50	51
受取配当金	174	209
デリバティブ評価益	284	250
その他	150	128
営業外収益合計	660	639
営業外費用		
支払利息	31	30
為替差損	471	281
租税公課	169	187
その他	8	18
営業外費用合計	681	518
経常利益	4,407	6,785
特別利益		
固定資産売却益	19	150
特別利益合計	19	150
特別損失		
固定資産除却損	46	10
投資有価証券評価損	—	1
その他	0	—
特別損失合計	47	12
税金等調整前四半期純利益	4,379	6,924
法人税、住民税及び事業税	820	1,157
法人税等調整額	102	196
法人税等合計	922	1,353
四半期純利益	3,456	5,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	532	930
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,924	4,639

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,456	5,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	△502
為替換算調整勘定	△1,471	△634
退職給付に係る調整額	△16	△25
その他の包括利益合計	△1,267	△1,162
四半期包括利益	2,188	4,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,906	3,547
非支配株主に係る四半期包括利益	282	860

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,379	6,924
減価償却費	3,546	3,702
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	21	△27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△69	280
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△184	△240
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△21	△9
受取利息及び受取配当金	△224	△260
支払利息	31	30
為替差損益 (△は益)	831	474
デリバティブ評価損益 (△は益)	△284	△250
固定資産売却損益 (△は益)	△19	△150
固定資産除却損	46	10
売上債権の増減額 (△は増加)	1,307	156
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,707	△485
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,648	1,058
前受金の増減額 (△は減少)	265	△33
その他	△97	827
小計	6,172	12,005
利息及び配当金の受取額	224	268
利息の支払額	△31	△30
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,158	△781
その他	△1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,205	11,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,000	△4,000
有価証券の売却による収入	—	4,000
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	569
有形固定資産の取得による支出	△4,529	△3,197
有形固定資産の売却による収入	48	455
無形固定資産の取得による支出	△52	△56
投資有価証券の取得による支出	△330	△96
長期預金の預入による支出	△10,000	△9,000
長期預金の払戻による収入	11,000	23,000
その他	△9	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,873	11,750
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△152
自己株式の売却による収入	51	153
配当金の支払額	△2,493	△2,493
非支配株主への配当金の支払額	△774	△884
その他	△30	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,247	△3,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△699	△381
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,615	19,415
現金及び現金同等物の期首残高	39,851	29,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,236	48,645

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2019年8月7日開催の取締役会決議により、当社の福利厚生制度を拡充するとともに、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、「信託型従業員持株プラン」(以下、「本プラン」といいます。)の導入を決議いたしました。

(1) 取引の概要

本プランは、「東京応化社員持株会」(以下、「当社持株会」といいます。)に加入するすべての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「東京応化社員持株会信託」(以下、「従持信託」といいます。)を設定し、従持信託は、その設定後5年間にわたり、当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得し、当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却します。信託終了時点で従持信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、従持信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落により従持信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点において従持信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

本プランは、従業員への株価上昇へのインセンティブ付与による当社の中長期的な企業価値の向上を図ると同時に、福利厚生の増進策として、当社持株会の拡充を通じて従業員の株式取得および保有を促進することにより従業員の財産形成を支援することを狙いとしています。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額および株式数は、前連結会計年度1,268百万円、304千株、当第2四半期連結会計期間1,143百万円、274千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度	1,272百万円
当第2四半期連結会計期間	1,119百万円

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	47,791	1,141	48,932	—	48,932
セグメント間の内部 売上高または振替高	0	26	26	△26	—
計	47,792	1,167	48,959	△26	48,932
セグメント利益または 損失(△)	6,423	△270	6,153	△1,724	4,428

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,724百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△1,724百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり
 ます。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	材料事業	装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	55,964	1,239	57,203	—	57,203
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	32	34	△34	—
計	55,966	1,271	57,238	△34	57,203
セグメント利益または 損失(△)	9,190	△294	8,896	△2,231	6,664

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△2,231百万円には、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△2,231百万円が含まれており、これは主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり
 ます。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。